

特定施設設置届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

小樽市公営企業管理者

水道局長 〇〇 〇〇 様

申請者 小樽市△▽〇丁目☆☆番◎号
住所

TEL 0134-00-0000

氏名又は名称及び
法人にあたっては
その代表者の氏名

□□〇×株式会社
代表取締役社長
☆☆ 太郎

記入例

下水道法第12条の3第1項の規定により、特定施設の設置について次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	□□〇×株式会社 ☆☆ クリーニング店	※ 整理 番号	
工場又は事業場の所在地	小樽市☆☆丁目〇〇番××号	※ 受理 年月日	令和 年 月 日
特定施設の種類	67 洗たく業の用に供する洗浄施設	※ 施設 番号	
△ 特定施設の構造	別紙 の と お り	※ 審査 結果	
△ 特定施設の使用の方法	別紙 の と お り	※ 備考	
△ 汚水の処理の方法	別紙 の と お り		
△ 下水の量及び水質	別紙 の と お り		
△ 用水及び排水の系統	別紙 の と お り		

- 備考
- △印の欄の記載については別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - ※印の欄には記載しないこと。
 - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

1. 工場又は事業場の概要
 特定施設の構造及び使用の方法

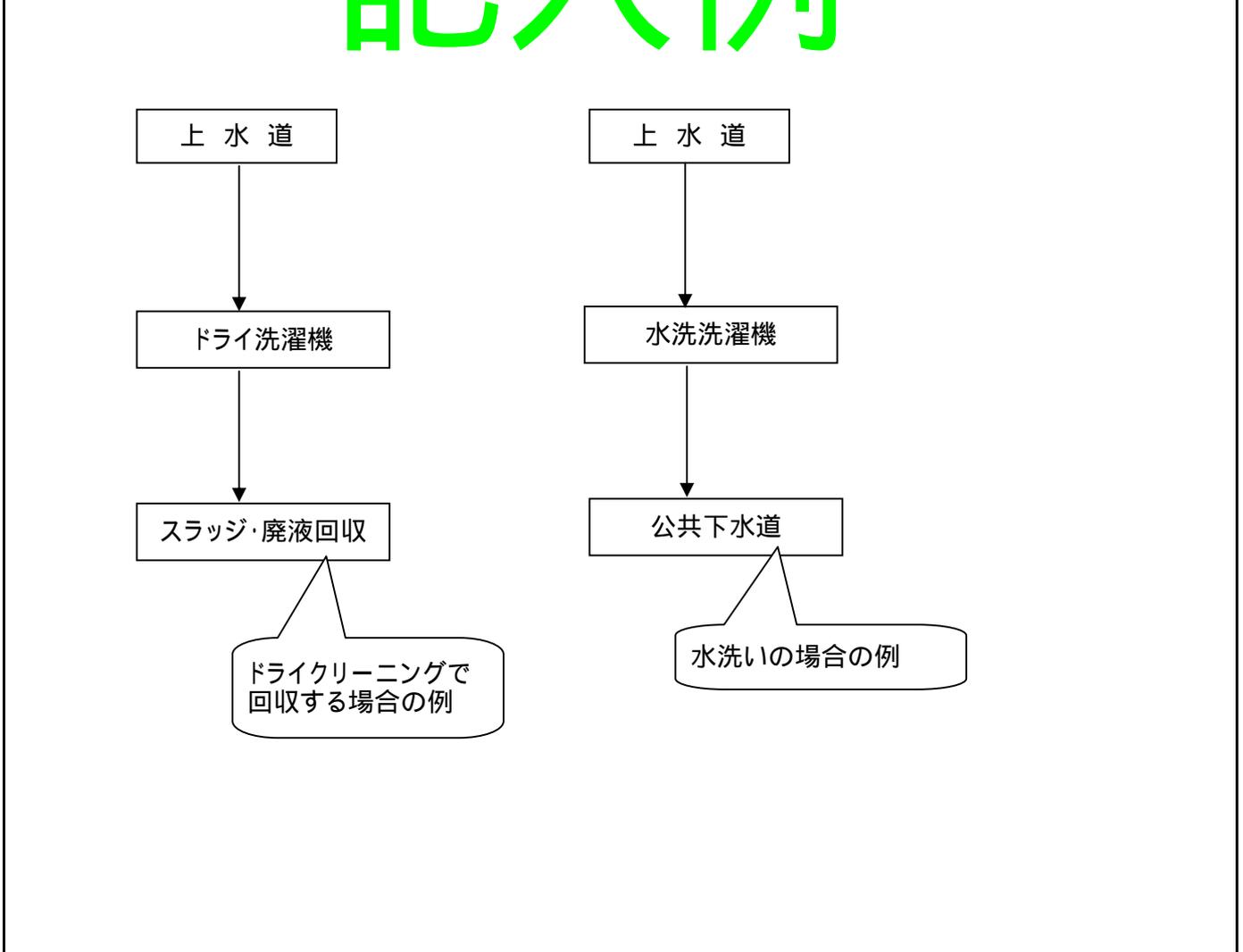
(1) 工場又は事業場の規模等

業種	洗たく業	資本金	万円	敷地面積	m ²
操業年月日	年月日	従業員数	10 (20)人	作業場面積	m ²
操業時間	8時~20時 (12時間)	休業日	無休	水質管理責任者	店長 水質太郎

(2) 主要製品名及び生産量

洗たく量
 ワイシャツ、寝具等 150kg/日
 コート、スーツ等 100kg/日

(3) 操業の系統 (作業工程フローシート)



(4) 特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料

施設番号	①	②	
施設の種類	洗濯機（水洗）	ドライ洗濯機	ドライか水洗か区別して記入してください。
型式	〇〇A-25型	〇〇M-30型	メーカー、機種名を記入してください。
構造	ステンレス製	ステンレス製	
主要寸法	L W H 000×000×000 c m	L W H 000×000×001 c m	1回で洗たくできる量を記入してください。
能力	25kg / 回	30kg / 回	
工事着手（予定）年月日	令和〇〇年 △月×日	令和〇〇年 △月×日	
工事完成（予定）年月日	令和〇〇年 △月×日	令和〇〇年 △月×日	
使用開始（予定）年月日	令和〇〇年 △月×日	令和〇〇年 △月×日	
使用時間間隔及び1日あたりの使用時間	9時から15時 連続5時間 / 日	9時から15時 連続4時間 / 日	
季節変動の概要	4・5月多し	4・5月多し	
使用原材料の種類、使用方法及び使用量	ワイシャツ、寝具等 弱アルカリ性 洗剤 5kg メタケイ酸ソーダ 4kg	コート、スーツ等 パークロ 10kg ソープ 2kg	
その他	2台	1台	

記入例

(5) 特定施設等の設置場所及び特定施設等に関する機械・装置の配置 別添第 (1) 図のとおり

施設の設備図面を添付してください。

(6) 特定施設等から排出される汚水等の汚染状態

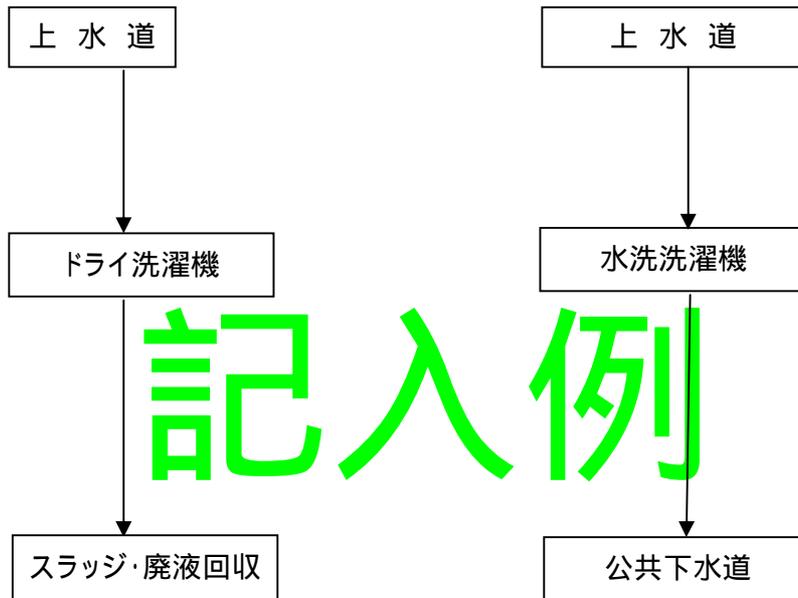
施設の名 称		水 洗 濯 機	ド ラ イ 機				
汚 水 量 (m ³ /日)	通常	m ³ /日	m ³ /日	各洗濯機ごとの1日あたりの排水量を記入してください。			
	最大	m ³ /日	m ³ /日				
水 質	pH	通常 8.0		洗濯機から発生する排水の水質を記入してください。(設計値でも可)			
		最大 8.5					
	パークロ	通常	50				
		最大	60				
		通常					
		最大					
		通常					
		最大					
(単位		通常					
		最大					
・ mg / L		通常					
		最大					
・ pH を除く)		通常					
		最大					
		通常					
		最大					

記入例

すべて計画値で記載

2 . 除害施設の構造及び使用の方法
汚水等の処理方法、下水の量及び水質、用排水の系統

(1) 汚水等の処理の系統 (フローシート) 及びその説明



スラッジ・廃液は、回収し
(株) に処分委託する。

ドライクリーニング
の場合の例

(2) 処理施設の種類、構造、使用時間及び消耗資材

処 理 施 設 の 称	活性炭処理装置	ばっ気式処理装置	<p>水分離液の処理方法について記入してください。 (活性炭、ばっ気、回転分離式、蒸発式など)</p> <p>↓</p> <p>処理装置を設置せず、専門業者に処分を委託する場合は、最下欄のその他の欄に記入してください。</p>
型 式	〇〇S A - 5	〇〇S B - 5	
構 造	ステンレス製	ステンレス製	
主 要 寸 法	L W H 000×000×000 c m	L W H 000×000×001 c m	
付 属 機 器 類	な	し	
能 力	活性炭 3.0 k g 2 槽	ばっ気槽 15 L 2 槽	
処 理 の 方 式	活性炭吸着法	ばっ気法	
工 事 着 手 (予 定) 年 月 日	令 和 〇 〇 年 △ 月 × 日	令 和 〇 〇 年 △ 月 × 日	
工 事 完 成 (予 定) 年 月 日	令 和 〇 〇 年 △ 月 × 日	令 和 〇 〇 年 △ 月 × 日	
使 用 開 始 (予 定) 年 月 日	令 和 〇 〇 年 △ 月 × 日	令 和 〇 〇 年 △ 月 × 日	
使 用 時 間 間 隔 及 び 1 日 あ た り の 使 用 時 間	9 時 から 15 時 連 続 5 時 間 / 日	9 時 から 15 時 連 続 5 時 間 / 日	
季 節 変 動 の 概 要	4 ~ 5 月 多 い	4 ~ 5 月 多 い	
消 耗 資 材 の 種 類 及 び 使 用 途 量	活 性 炭		<p>処理装置を設置せず、専門業者に処分を委託する場合は、この欄に記入してください。</p>
そ の 他	水分離液は回収し、 (株)〇〇〇に処分委託する。		

記入例

(3) 処理施設の設置場所及び配置 別添第 () 図のとおり

図面を添付してください。

(4) 処理施設別 汚水量及び水質

処理施設の名称		活性炭処理装置	ばっ気式処理装置	
汚水量 (m ³ /日)	通常	4 L / 日	4 L / 日	1日あたりの水分離液処理量を記入してください。
	最大	5 L / 日	5 L / 日	
水	パーク	処理前	50	水分離液の濃度を記入してください。(設計値でも可)
		処理後	0.03	
質		処理前		処理水の濃度を記入してください。(設計値でも可)
		処理後		
		処理前	排水の処理施設を設置している場合、記入してください。 廃液の回収の場合は、記入しなくても良いです。	
		処理後		
(単位		処理前	<h1>記入例</h1>	
		処理後		
・ mg / L		処理前		
		処理後		
・ pH を除く)		処理前		
		処理後		
		処理前		
		処理後		
全て計画値で記載				

(5) 汚水等の処理によって生じる残さ及び濃厚廃液の種類等

残 さ 等 の 種 類	活性炭	
生 成 量	1 k g / 月	
含 水 率		
保 管 方 法	ポリ容器に回収	
処 理 ・ 処 分 の 方 法	(株) に処分委託	
最 終 処 分 先	北海道 × × 市 町 番地	

(6) 施設の建設費等

建 設 費	機械工事	土木工事	電気工事
	円	円	円
	その他()		
	円		
維 持 管 理 費	なし		
建 設 資 金 計 画	自己資金	借入()	その他()
	円	円	円
施 工 業 者	株式会社 市 町 × 番地 TEL 0000-00-0000 担当 二郎		

(7) 使用水量 (m³ / 日)

給水源	用途					合 計
	原料用水	洗浄用水	冷却用水	生活用水	その他 (希釈用)	
上 水 道		m ³		m ³		m ³
工 業 水 道						
そ の 他 (地 下 水)						
合 計		m ³		m ³		m ³

(8) 用水及び排水の系統 添付第 () 図のとおり

図面を添付してください。

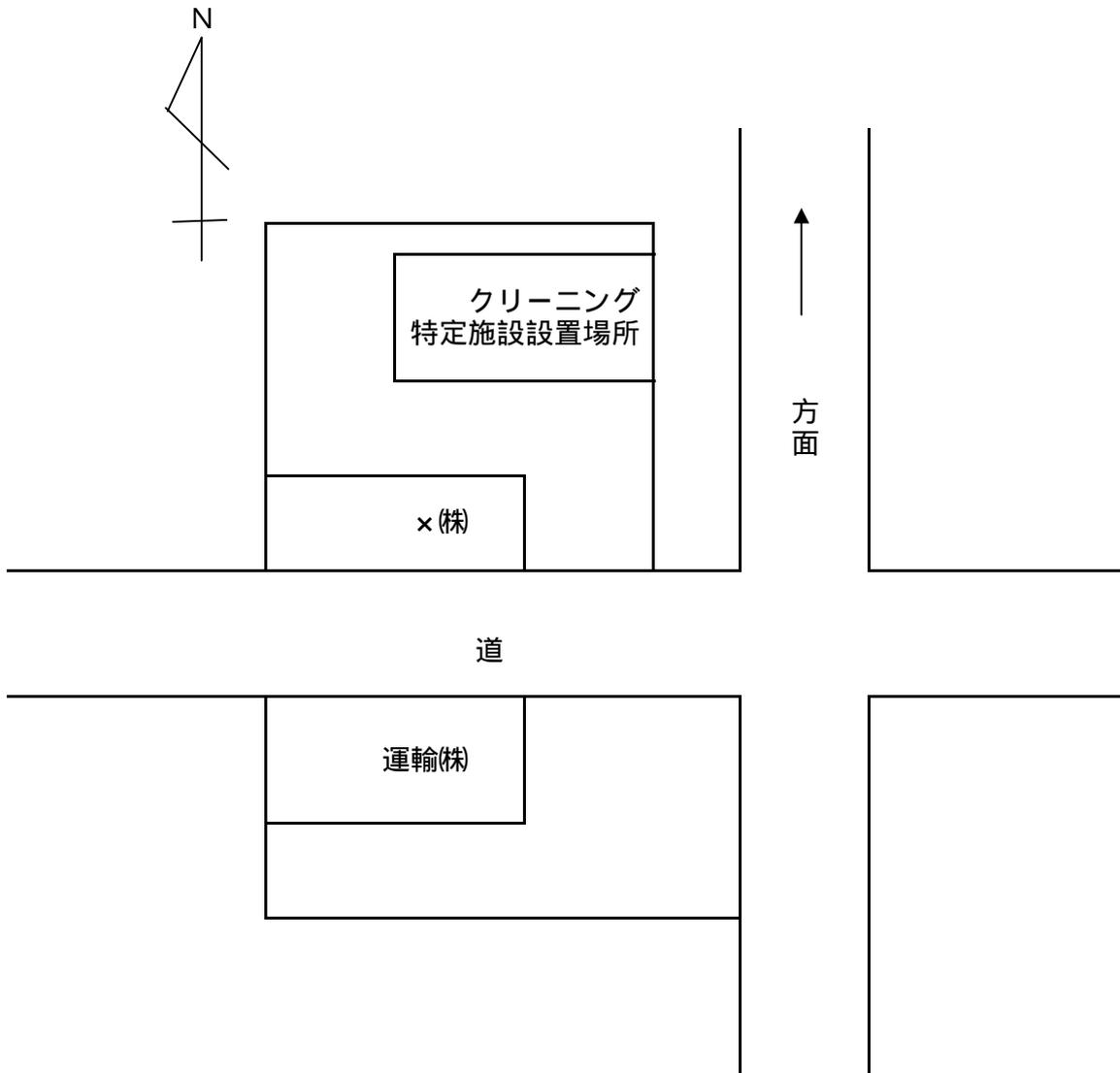
(9) 公共下水道へ排除する下水の量及び水質

排出口番号		1				
排出口の名称		店 正 面 右 舗 横				
排水量 (m ³ /日)	通常	m ³ /日				
	最大	m ³ /日				
パーク	通常	0.1以下				
	最大	0.1以下				
水	通常					
	最大					
質	通常					
	最大					
(単位	通常					
	最大					
・ mg/L	通常					
	最大					
・ pH	通常					
	最大					
を除く)	通常					
	最大					
	通常					
	最大					

記入例

全て計画値で記載

付近見取図



目印となる建物および主要道路を記入してください。